
4 5 3 0. 貨物取扱登録（特殊貨物）

業務コード	業務名
C H T	貨物取扱登録（特殊貨物）

1. 業務概要

エサの供給、運動等を必要とする動物またはドライアイスの供給が必要な要冷蔵貨物についての取扱作業を通関業等から依頼されている場合に登録を行う。また、本業務で登録済の取扱情報の取消しが可能である。

2. 入力者

保税蔵置場

3. 制限事項

1業務で入力可能なAWB件数は、最大18件とする。

4. 入力条件

(1) 入力者チェック

- ①システムに登録されている利用者であること。
- ②入力者の管理する保税蔵置場に対してシステムにより蔵置料金計算を行う旨の設定がされていること。

(2) 入力項目チェック

(A) 単項目チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」参照。

(B) 項目間関連チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」参照。

(3) 輸入貨物情報DBチェック

(A) 登録の場合

- ①入力されたAWB番号に対する輸入貨物情報が輸入貨物情報DBに存在すること。
- ②ULDでないこと。
- ③MAWBでないこと。
- ④仮陸揚貨物または機移し貨物でないこと。
- ⑤本業務の入力者が管理する保税蔵置場に貨物が蔵置されていること。
- ⑥「貨物取扱登録（改装・仕分）（CHS）」業務により仕分けられた仕分け親でないこと。
- ⑦突合済である到着便情報が存在すること。
- ⑧入力された取扱個数が蔵置されている個数以下であること。
- ⑨同一の保税蔵置場に対して複数回登録を行う場合は、特殊貨物取扱情報に登録されている種類と入力された特殊貨物の種類が同一であること。
- ⑩「許可・承認等情報登録（輸入保税）（PCH）」業務により以下の登録が行われていないこと。
 - 「廃棄届受理」
 - 「滅却承認」
 - 「亡失届受理」
 - 「税関内収容」
 - 「現場収容」
 - 「貨物の移動差止」
 - 「貨物手作業移行」
 - 「登録情報削除容認」

(B) 取消しの場合

- ①入力されたAWB番号に対する輸入貨物情報が輸入貨物情報DBに存在すること。
- ②特殊貨物の取扱情報が登録されていること。
- ③MAWBでないこと。
- ④本業務の入力者が管理する保税蔵置場に貨物が蔵置されていること。

⑤CHS業務により仕分けられた仕分け親でないこと。

⑥PCH業務により以下の登録が行われていないこと。

- 「廃棄届受理」
- 「減却承認」
- 「亡失届受理」
- 「税関内収容」
- 「現場収容」
- 「貨物の移動差止」
- 「貨物手作業移行」
- 「登録情報削除容認」

5. 処理内容

(1) 入力チェック処理

前述の入力条件に合致するかチェックし、合致した場合は正常終了とし、処理結果コードに「00000-00000-00000」を設定の上、以降の処理を行う。

合致しなかった場合はエラーとし、処理結果コードに「00000-00000-00000」以外のコードを設定の上、処理結果通知の出力を行う。(エラー内容については「処理結果コード一覧」を参照。)

(2) 貨物取扱番号の払出し処理

システムにより貨物取扱番号を払い出す。

(3) 輸入貨物情報DB処理

(A) 特殊貨物取扱情報を登録または更新する。

(B) 取扱関連計算処理

以下の計算処理の結果を登録する。

①物の運動等の取扱累積個数の計算

②ドライアイス詰替累積個数の計算

③実費累積値の計算

実費の計算(投入量×単価)を行いその値を加算する。

④取扱重量の計算処理

$$\frac{\text{入力個数}}{\text{輸入貨物情報に登録されている個数}} \times \text{輸入貨物情報に登録されている重量}$$

更新項目は、取扱貨物の種類により以下の通りである。

特殊貨物取扱情報	入力項目		ドライアイス	エサ	動物の運動 小屋清掃	その他
		取扱貨物の種類	I	A	A	○
区分					R	
動物の運動等の取扱累積個数 (入力PCS)					◎	
ドライアイス詰替累積個数 (入力PCS)			◎			
実費累積値 (投入量×単価)			◎	◎		◎
取扱回数			◎	◎	◎	◎

(4) 出力情報出力処理

後述の出力情報出力処理を行う。出力項目については「出力項目表」を参照。

6. 出力情報

情報名	出力条件	出力先
処理結果通知	なし	入力者
貨物取扱控情報（輸入） C	登録の場合	入力者
特殊貨物取扱取消情報	取消しの場合	入力者